

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-386-1081

年度	平成29年度		
施設名	新潟市北区郷土博物館 (分館 横井の丘ふるさと資料館)	所管部・課	北区地域課
施設の設置目的	「新潟市北区郷土博物館」は、博物館法第2条第1項に規定する博物館として、北区の考古、歴史、民俗、美術等に関する資料の収集、保管及び展示、調査研究及びその成果の公開などの事業を通して、市民の教育、芸術及び文化の向上を図ります。 また、分館「横井の丘ふるさと資料館」において、郷土の歴史概要の教育・普及を図ります。		

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	H29.4.1
歳入	254	正職員	2
歳出	12,804	非常勤	3
修正日		評価日	H30.3.31

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標					H29結果
1	市民	入館者の増加	企画展等を実施して入館者数 年間9,500人以上 (単位:人)	9,027	9,065	9,081	9,500	10,019 (入館者: 8,610人 館外事業 参加者、 1,409人)	・常設展を拡大して行う特別展示を3回開催 ・ふるさと学習の利用拡大 小学校6校 ・歴史講座の開催 ・郷土芸能伝承支援事業	・羽越水害復興50年事業巡回パネル展と併催する企画展「北区の水害」展、常設展拡大企画「昭和のくらし2」展、並びに「美術のなかの自然」展 ・(小中学生公募)「松蔭賞書道展」「北区子ども科学展」 ・常設展示をテーマとする「歴史みに講座」の開催 2回 ・郷土芸能伝承支援事業(体験事業)の実施団体目標 3団体	常設展示「阿賀北の大地と人々のくらし」の見学・活用の拡大を図るため、さまざまな事業を計画通り実施し、広報活動に努めたが、残念ながら館内入場者は8,601人にとどまり、大規模な企画展を二つ開催した28年度よりも下回る結果となりました。 一方で、郷土芸能伝承支援事業に区づくり事業も活用するなどして、3つの出前公演を行ったほか、「ふるさと学習」の一環として小学校への出前授業を行い、館外活動に1,049人が参加しました。 その結果、館内・館外あわせて10,019名の入館および参加者となり、目標を達成しました。	B:達成
2	財務	歳入の増加	刊行物の販売収入年間150,000円以上 (単位:円)	156,850	408,950	367,900	150,000	139,400	・『常設展示案内』、『学習ノート』の販売 ・ガイドブック『北区のお宝ものがたり』、展覧会図録、栄栄市史などの販売	・平成29年度は新規の印刷物の発行はありません。	27年度は、「弦巻松蔭展」1期・2期の図録2種、28年度は、「上田桑鳩展」図録と常設展示「学習ノート」等の作成によって、販売実績が例年を大幅に上回りました。今年度は、新規作成の印刷物がなかったこともあり、目標を達成することができませんでした。	C:未達成
3	業務	市民との協働(講座回数)	ボランティアガイド養成講座開催を年間3回以上 (単位:回)	-	-	講座 4回 その他研修等 3回	3	3	・市民ガイドによる常設展示等の解説により、「北区の歴史と文化」をわかりやすく案内できる博物館づくりを促進。	・スキル・アップ講座、他館ボランティアとの交流会の開催	市民ガイドのスキルアップと情報の共有を図るため、「遺跡現地説明会」や、他施設のボランティアとの交流会に参加しました。より一層、市民ガイドのスキルアップと活動の活発化を進め、「北区の歴史と文化」を分かりやすく案内できる博物館を目指します。	B:達成
4	人材	人材育成	職場内の研修会 年3回以上実施 (単位:回)	3	3	3	3	3	・企画展開催時及び常設展示替え時等に、その内容についての研修を行い、情報の共有化を図る。	・「北区の水害」展、「昭和のくらし展2」、「美術のなかの自然」展の展示概要についての理解を深めるため、職場内研修を開催。	・計画どおりに研修を行いました。	B:達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<ul style="list-style-type: none"> 常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」や常設展・拡大企画の充実により、多くの市民が地域の歴史や文化を知ることができるとともに、北区の魅力を発見できる博物館づくりを目指します。 小学校等の「ふるさと学習」の利用拡大を図るなど普及活動に取り組みます。 市民ガイドとの協働によるわかりやすい解説に努め、市民が気軽に利用できる博物館づくりを目指します。 各種団体・関係機関との連携を図り、様々な機会に利用できる博物館づくりを目指します。 	<p>常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」をテーマに、地域の生いたちや伝統、文化の理解・共有と、北区の魅力を再発見できるよう事業を展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の利用拡大を図るため、区内の小中学校長や地域コーディネーターに見学してもらい、説明を行うことで、学校教育との連携強化に努めました。 ・市民ガイドの研修を行いつつ、活動の活発化を進め、児童・生徒や高齢者等が分かりやすく見学できる博物館づくりに尽力しました。 ・「歴史みに講座」の北宝隊・北地区歴史文化研究会との共催、「出前講座」の市文化財センターとの共催、市内他施設とのボランティア交流会などを行って、各種団体や関係機関との連携をはかり、様々な市民から参加・見学してもらえるように努めました。 ・区づくり事業でもある郷土芸能支援事業においては、恒例の「博物館まつり」での発表会のほか、「キテ・ミテ・キタク」や小学校での出前公演を実施し、事業参加者の増加をはかるとともに、郷土芸能保存団体の活動を支援しました。 <p>平成30年度は、博物館の50周年にあたるため、特別事業としての「伝統芸能発表会」(会場:北区文化会館)と記念講演会などを通して、より一層、博物館の存在とその活動の周知に努めます。</p>